高齢者施設のリスクマネジメントと 事故防止の具体策(2部構成・65分)

- 事故防止活動のコツと防止の具体策 -

2か月間の期間限定配信で3,300円

一生懸命事故防止活動に取り組んでいるのに、なぜ事故が減らないのでしょうか?その理由は事故防止活動の進め方が間違っているからです。防ぎようが無いような、自立歩行者の転倒防止対策に労力をかけるのは効率的ではありません。転倒しても骨折しない対策を講じた上で、防げない事故を家族に理解してもらえば良いのです。現場職員がもっと楽をして事故を効率的に減らすためには、事故防止活動の効率化と防止対策の工夫が必要です。

本動画セミナーでは、事故防止活動の進め方のコツと、事故別の個別具体策について2部に分けて徹底解説します。現場職員もリーダーも必見のセミナーです。

動画セミナー提供方法

■提供対象:安全な介護にゆーす読者

■配信期間:2024年4月1日~5月31日

■提供資料:セミナーテキスト・お役立ちツール

■提供価格:3,300円(税込)3月23日メ切

[施設・事業所単位でお申し込みください]

※安全な介護の顧問先法人は無料です

■申し込み方法:下記URLからお申し込みいただき、所定口座に配信料をお振込みください。視聴データ・テキストは、前月末までににメールで送付いたします。

http://tiny.cc/ogbuwz

動画セミナーの内容

第1部 事故防止活動の進め方

- 1. リスクマネジメントの基礎知識 新しい事故防止活動 防ぐべき事故と防げない事故
- 2. 事故防止の基本活動 安全ルールの徹底 危険発見活動
- 3. 効果があがるヒヤリハット活動 原因分析の方法 防止対策の検討方法

第2部 事故防止の具体策

- 1.現場で取り組む事故防止の具体策 転倒事故・ 誤えん事故 ・ 排泄介助の事故 入浴介助の事故・ 行方不明事故 ・ 誤薬事故
- 2. 事故発生時の対応の見直し 転倒事故対応の見直し・誤えん事故対応の見直し ・誤薬事故対応の見直し

●安全な食べ方ができなくなる(認知症のある利用) 早食い・詰め込み・丸呑みなどの危険な食べ方への対応 ○認知症のある利用者は誤えんのリスクが高くなる 認知症のある利用者の中には、知的能力の低下から「安全な食べ方」が できなくなる人がいます。特徴的な危険な食べ方は、早食い・詰め込み・ 丸呑みですが、最も危険な食べ方は丸呑みです。 ■丸呑みによる窒息のリスクの対策 丸呑みした時に、咽頭口部に詰まる危険性のある 食材は全て、調理段階で切り分けて提供する。 4118 誤薬事故防止対策の例 ミスの発生を防止する工夫 薬の取り違えにつながる読みにくい氏名の文字 吉田〇〇様 山田太郎様 昼食後 暴食後 お業ポックスの文字が手書きで悪筆 なぜか氏名の文字が小さいお薬袋 ミスを発見するチェックの仕組 服薬直前に薬の取り違いと利用者の取り違いをチェック Application of the state of the

お申し込みの方には「危険箇所点検マニュアル」や「転倒リスクアセスメントシート」など事故防止活動に 役立つツールを差し上げますを差し上げます

動画セミナーに関するお問い合わせは